

と　　む　　ろ　　い　　し

戸　室　石　だ　よ　り

土塀の石垣のように、みんなで、暖かい病院を！



(財)日本医療機能評価機構認定病院、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院

病院機能評価を受審（更新）して

管理課長 奥村 達夫

昨年発行の第10巻第3号（通巻36号；2009年9月20日発行）に、「病院機能評価再受審（更新）に向けて」と題し、第3回目の受審に向け平成21年1月に受審準備委員会を発足させて準備を進めているとの副院長による寄稿があります。

事前準備は、院長をはじめ受審準備委員会（委員長：副院長）により、職員一丸となり受審に向けて取り組みが行なわれました。

また、本年1月13日～15日の受審当日は、8名のサーベイヤー（評価調査者）による「病院概要説明・書類確認・合同面接調査・領域別面接調査・ケアプロセス病棟訪問・領域別部署訪問」を院長中心に多くの関係職員の対応で無事受審することが出来ました。

この結果、新認定証（ver. 6.0）が平成22年6月4日に発行されました。

今後も『病院理念』に基づき更なる改善に向けて取り組み続けていきます。



地域がん診療連携拠点病院の指定について

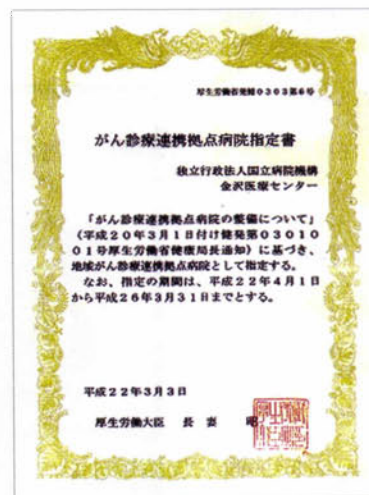
経営企画室長 遠山 憲之

地域がん診療連携拠点病院は毎年厚生労働省へがん診療に関する実績や地域医療従事者に対する研修会活動などを報告しています。

報告に基づき厚生労働省は評価を行い、当院は平成26年3月31日まで指定継続を決定されました。写真1は石川県がん診療連携協議会にて指定書の伝達が石川県より当院院長に行われた様子です。



(写真1：金沢大学における伝達式 右：小島靖彦院長)



(写真2：指定書)

～～謹んでお悔やみ申し上げます～～

森本日出雄先生を偲んで

消化器科医長 太田 肇



本年5月18日に当院消化器科・光学医療診療部長の森本日出雄先生がお亡くなりになりました。享年58歳のご生涯でした。先生は昭和54年に金沢大学医学部を卒業され、同年第一内科（消化器内科）に入局されました。当院へは昭和61年、旧国立金沢病院時代に赴任され、以後24年間にわたり消化器科ならびに内科一般を支えていただきました。先生のご専門は肝臓病学で、特にウイルス性肝炎・肝硬変・肝臓がんは先生の得意分野でした。先生はいつも冷静沈着で、常に私たちを正しい道へと導いてくださいました。ご病気が見つかって入退院を繰り返されていましたが、いつも患者さんのことを気にかけられていました。

私たち後輩が先生のお身体を第一にと思い、外来の診療時間を短くされてはいかがですかと何度も助言申し上げましたが、先生は「患者を診ることが自分の生きがいであり、外来診療をしている方が自分の健康状態も良くなる。」と最後まで外来診療を続けられました。御通夜の日には医師・看護師・医療従事者の方々のほか、たくさんの患者さんにもご列席していただきました。この場を借りて御礼申し上げます。先生もきっと喜んでおられることと思います。

さて、先生が無類のお酒好きであったことは皆さんご存知のことと思いますが、大の映画マニアであったことは知らない方も多いと思います。多いときには1ヶ月に10本以上観ておられました。分野もさまざまアニメから洋画、主に若い方が見るような映画までたくさん観ておられました。勉強会のあとに消化器科のみんなで良く飲みにいきましたが、映画の話の話をいつもよりちょっぴり大きめのお声で楽しく語られている先生が印象的でした。

外来の診察室には先生の本や書類がたくさん残っていて、今でもふらっと先生が現われて患者さんを診察している錯覚にとらわれます。これからもずっと先生といっしょに仕事ができると思っていたので残念でなりません。

先生、天国では毎日お酒を飲みながら大好きな映画を観ておられると思いますが、私たちのことも今まで同様、ずっと見守っていてください。心からお礼を申し上げますとともに、ご冥福をお祈りいたします。 合掌



医療の広場

【診療科紹介】 今回は **血液内科** です。

100 年を超える伝統を持つ金沢医療センターの中で当科は 10 年前の平成 12 年に私たちの先輩である福島俊洋先生（現金沢医科大学血液リウマチ膠原病科准教授）が福井医科大学（現福井大学医学部）より着任されてその歴史が始まった新しい診療科です。

すぐ隣に血液内科では全国的に有名な金沢大学付属病院があることから当初は「患者さんが来ないのでは？」と心配された病院幹部もおられたと聞いております。しかし、福島先生の御活躍で当科の必要性をご理解いただけ、ただちに増員が決定され平成 15 年までに現在の三人体制となりました。その後平成 19 年に一人欠員となるも後任が来ず苦労の日々が続きましたが、本年 6 月ようやく大藏美幸先生が着任され 3 年ぶりの 3 人体制（現在、他二人は吉尾伸之内科医長と私、周藤英将）となって活気ある状況となっております。

さて、当科が診療にあたる主な疾患は急性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの造血器悪性腫瘍です。これらの疾患は難治性の上、治療には極めて専門的な知識と経験が必要とされますが、高齢化により罹患される方が近年急激に増えておられ、地域需要に対して医療側の体制が十分応えられるのか検討を要する時期をむかえています。さらに今後この傾向は強くなると予想されることから、3 人体制になったとはいえ、私達も近未来の診療について不安をいだくところでもあります。

しかし当院は小島靖彦院長の力強い指揮の下、増え続ける悪性腫瘍に対して地域がん診療連携拠点病院として、より良い医療を目指し向上しようという方針が明確にされていることが誠に心強く感じられ、歴史の浅い当科ではありますが、他部署の職員とも力を合わせ金沢は勿論のこと、北陸の皆様にも質の高い医療を提供できるように精進しなければと心の引き締まる毎日です。

(周藤医長・吉尾医長・大藏医師)



ストーマ外来を実施しています

皮膚・排泄ケア認定看護師 尾西 恵理

ストーマとは、さまざまな原因で腸管や尿管の一部を腹壁に引き出したものを言います。したがって、排泄はそのストーマから行われることになります。ストーマ造設をされた患者様はストーマにまつわるさまざまな経験をします。その中で、自分なりに対応策を考え日々過ごしている方が多いと思います。また、不安をかかえながら過ごしている方も多いと思います。

そこで当院では、今年 5 月から毎月第 1・3 月曜日の 13 時 30 分から泌尿器科外来にて皮膚・排泄ケア認定看護師によるストーマ外来を実施しています。ストーマ外来は当院でストーマ造設された方だけでなく、他院でストーマ造設された方も受診できます（当院で初めてストーマ外来を受診する際には紹介状が必要になります。）

ストーマ外来では、患者様一人ひとりのストーマケア方法を確認したり、ストーマ合併症の早期発見・対処方法の指導を行っています。また、術後、体型の変化に伴いストーマ装具が合わなくなってくることもあり、その際、患者様の腹部状況に合った装具選択も行っています。その他、不安を傾聴しアドバイスをしたり、指導したことが上手くいった時は共に喜びを分かち合ったりしています。

当院でストーマを造設される患者様からは、ストーマ外来があることで退院後のストーマケアへの不安が軽減でき安心して手術に臨めるとの言葉を頂き、ストーマ外来の必要性を強く感じています。



(スマート外来の様子)



当院は日本耳鼻咽喉科学会および石川県の 新生児聴覚スクリーニング検査後の精密医療機関です。

耳鼻咽喉科 言語聴覚士 村上 美矢子（石川県聴覚障害児早期発見・早期療育支援検討委員）



*新生児聴覚スクリーニング検査をご存知ですか？

生後3・4日目に、専用の機器を使って赤ちゃんのきこえをスクリーニングするシステムのことで、オーストラリアやアメリカでいち早く導入され広く普及しています。

この検査の目的は、高度や重度の難聴が疑われるお子様を早期に発見して対応することです。日本では平成13年から始まりました。

当院では、全国に先駆け、平成12年から小児科でAABR(自動聴性脳幹反応検査)を1500人以上の赤ちゃんにスクリーニング検査を実施しています。

*新生児聴覚スクリーニング後の精密聴力検査

新生児聴覚スクリーニング検査で「再検査」となった赤ちゃんは精密聴力検査を受けます。「再検査」は聞こえが悪いということではなく、「詳しい検査を受けましょう」ということです。

石川県では、生後1か月以降にこの精密検査を実施します。

生後1か月頃の赤ちゃんは、音が聞こえたら「はい！」と可愛い手を挙げてくれるわけではありません。そこで、私たち言語聴覚士の出番です。とろとろと眠りかけている赤ちゃんの耳元で、さまざまな小さい音を出して、瞼の開閉・目の動き・指やからだの動きなど些細な反応を見逃さず評価します。これを聴性行動反応検査と言います。また、ご家庭での物音や声掛けに対するきこえの反応をお聞きします。耳鼻科では、念入りに鼓膜の状態を観察して、疾病がないかを見極めます。

しかし、生後間もない赤ちゃんは聴覚の発達が成熟しておらず、正確に評価することは容易ではありません。

新しいきこえの検査が稼働しています ~ ASSR (聴性定常反応検査) ~

近年、とても力強い助っ人が現れました。

それが新しい聞こえの検査「ASSR」です。

「ASSR」は眠っている赤ちゃんの脳波から聞こえの程度を推定します。

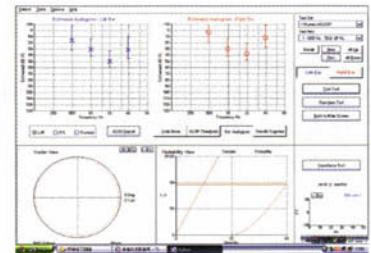
従来から信頼性の高いABR(脳幹聴性反応検査)では見極められない低・中音域から高音域までそれぞれ聞こえているかどうかを知ることができます。そのため補聴器の適応などがより迅速かつ他覚的に行えます。

赤ちゃんへ痛みなど全くなくすやすやと眠っている間に行うことができます。

もちろん赤ちゃんだけでなく幼小児から大人の方すべてに受けていただけます。

当院では平成20年から、石川県では唯一導入しており、これまでに成人の方を含め延べ300の方々に実施しました。

*聞こえに心配をお持ちの方、ASSRをお受けになりたい方、また通常の聴力検査が受けにくい方などなだでも耳鼻咽喉科外来までご相談ください。



夏バテ予防に酢の効用 (栄養管理室)

食酢には、いろいろな効用がありますが、主なものを挙げると次のとおりです。

①食欲増進のお手伝い

食酢の持つさわやかな酸味が嗅覚と味覚を刺激し、唾液や胃液の分泌を促し食欲を増進させます。

②減塩のお手伝い

食酢には塩味を引き立たせる働きがあり、塩分を少なめにする代わりに食酢を加えることで、おいしく仕上がります。

③防腐のお手伝い

食酢を使った料理は腐りにくいといわれていますが、これは食酢の主成分である酢酸に細菌の増殖を抑える防腐効果があるからです。

④疲労回復のお手伝い

運動した後はエネルギー不足の状態になっています。「疲れた」と感じるのはこのためです。こんな時、人は飲んだり食べたりしてエネルギーを補給しますが、食酢と一緒に摂るとエネルギー源を効率的に再補充し、疲労回復のお手伝いをします。

⑤その他の効用

魚の生臭さを消すことが出来る。

野菜を茹でた時に美しい色に仕上げる。(蓮根やごぼうなど)、昆布を軟らかく煮ることが出来る。

<食酢の語源は？>

食酢を英語でビネガー (Vinegar) と言いますが、その語源はフランス語の vinaigre (ビネーグル)。

vin(ぶどう酒)+aigre(すっぱい)から来た言葉です。つまり、食酢とはお酒が酸っぱくなったもの、という意味。食酢の由来がよく分かる語源ですね。



簡単レシピ・・・さばの黒酢煮込み (4人前)
材料・・・さば (3枚おろし) 4枚
なす 2個
ししとう 12個
塩・胡椒・薄力粉・
生姜 (千切り)
調味料・・・(黒酢・醤油・砂糖・紹興酒・スープ)

作り方

- ① 鯖は臭みを流水で洗い取り、水気を取って塩胡椒します
- ② ①の鯖を3等分の大きさに切り、両面に薄力粉をつけます
- ③ ししとうは切り目を入れ、茄子はへたを取って2cm幅の輪切りにします
- ④ 揚げ油で②の鯖を揚げ、更に③の野菜も素揚げします
- ⑤ 鍋に調味料をわかし④の鯖と茄子を入れ、落としぶたをして約5分煮込みます
- ⑥ 煮込んだ⑤を器に盛り付け、ししとう、生姜を上のにのせます

おいしく食べて夏を乗り越えましょう。糖尿病の方は鯖の量を半分にして茄子、ししとうは揚げずにフライパンで煎って使いましょう。

第3回北陸地区国立病院機構「地域ふれあい市民講座」に参加して

副看護部長 北川 芳美

6月27日、日曜日は、私たち北陸地区の国立病院機構の6施設が「今年もやります『もてなしドーム』NH O」と称して、金沢駅のふれあいドームで「市民公開講座」を開催いたしました。地域の皆さんの健康の保持増進と親睦を目的に始まり、今年で3回目になります。

当日は6施設がそれぞれの立場で、市民の皆様の健康を守るために大変役立つ内容の講演会を行いました。当院からは呼吸器科医長の北先生による「睡眠時無呼吸症候群」の講演が有りました。今まで「いびき」は笑い話などの対象でしか考えておりませんでした。治療の対象となることを改めて認識させられました。

合間の休憩時間には、当院ではおなじみの先生方によるミニコンサートや看護学生による「よさこいソーラン」の演舞が披露され、通りかかりの観客からの手拍子や写真撮影する姿も見られました。



(当院看護学生による「よさこいソーラン」演舞)



(各種医療相談コーナー)



(北呼吸器科医長による睡眠時無呼吸症候群の講演)



(左から、伊勢地域医療連携室長・越田外科系診療部長・瀧口耳鼻咽喉科部長によるミニコンサート)

ニッタ先生の神経百話（第18回）

～おかしいのは右？ 左？～



「昨日から顔がへんなんです、先生」と、神経内科を受診されたPさん。

ニッタ先生：顔がどんなふうにおかしいんですか？

Pさん：右の顔がおかしいんです。笑うと顔が右にひきつるんですよね。

ニッタ先生：そうですか。じゃ、「イー」と口を動かしてみてください。

（たしかに、Pさんの口やほっぺたはゆがんで、右上にひきつります）

ニッタ先生：今度は眼をぎゅーっとしっかりつむってください。

（アレレ、今度は左眼がうまく閉じません。さあ、Pさんの顔は右と左、どっちがおかしいのでしょうか？）

Pさんの顔は、実は左がおかしいのです。皆さん、笑うとほっぺたが上に動きますよね（ちなみに、上にあるニッタ先生のス・テ・キ・な笑い顔も見てくださいね。エッ、たれてる？）。これが正常な状態です。ですから、「イー」とやった時に上にひきつらなかった左の顔がおかしいのです。**顔面神経麻痺**（顔を動かす神経が麻痺している状態）と言います。世界に冠たる北野たけし監督は事故で右の顔面神経麻痺になっていますね。顔面神経麻痺の**原因**は、脳卒中、糖尿病、腫瘍、ウイルス感染などいろいろありますが、原因不明が一番多い原因です（なんのこっちゃ？）。原因不明の顔面神経麻痺を**ベル麻痺**とも言います。基本的には約2週間ほど入院していただき、点滴やりハビリを行います。治療により、麻痺がほとんどわからなくなる場合もあれば、残念ながら北野監督のようにほとんどよくなる場合もあります。

では皆さん、顔が麻痺していないかどうか、確認のために鏡の前で、大きく口を「イー」とやってみましょうね。御一緒にハイッ、「イー」。

どうですか？。ちゃんとわかりましたか。口もほっぺたも、右左いっしょに上に動きましたね。よかったですねえ。

では、今度は両眼をぎゅーっとしっかりつむってみましょう。また御一緒にハイッ、「ギュー」。「・・・、先生、真っ暗で何もわかりませ～ん。」（爆）

看護学校だより

実習にうかがっている3年生の声をお届けいたします。

2年生の時の実習で、一人の患者さんを受け持たせて頂き、日々の患者さんとの会話の中で、印象に残る言葉がありました。それは「心のある看護師になってね。」という言葉です。この言葉から患者さんが看護師に求めているものは、相手のことを思う、気遣うことができることであり、心がなければ患者さんが本当に望む看護を提供することはできないということを改めて実感することができました。実習先で受け持たせて頂く患者さんをはじめ、指導者さん、指導教員、共に学ぶ仲間は知識も技術もまだまだ未熟な私を一人の人間として看護者として成長させてくれる大切な存在です。3年生は長い実習が始まりますが、一人ひとりの患者さんとの出会いや関わりを大切にしながら実りある実習にしていきたいと思えます。また、日々の方々に支えられていることに感謝しながら自分の夢に向かって前進していこうと思えます。



3年生の実習は12月まで続きます。今後ともよろしくお願ひ致します。

看護学校のホームページを更新しました。
<http://www.kanazawa-hosp.jp/nurse/index.ht>



担当医一覧表

平成 22 年 7 月

診療科目	診療時間	【初診受付時間】午前8時30分～11時30分					備 考
		月	火	水	木	金	
内 科	初 診	吉 村	吉 尾/北	周 藤	長 岡	伊 勢	火曜日:初診は隔週交代です
	初診(消化器)	太田(肇)	小 村	高 島 / 岡 藤	関	丸 川	水曜日:初診(消化器)は隔週交代です
	内分泌・代謝①	能 登	長 岡	能 登	栗 田	長 岡	糖尿病教室:第1～第4月曜日(14:00～15:00)
	内分泌・代謝②		(能 登)	栗 田			高血圧教室:第2水曜日(15:30～16:30)
	腎・膠原病	伊 勢	伊 勢	相 良	吉 村	吉 村	
	透 析	相 良	吉 村	伊 勢	相 良	相 良	
	血 液	吉 尾	周 藤	吉 尾	周 藤	吉 尾/大 藏	
	呼 吸 器	北	廣 瀬	北	織 部	廣 瀬	禁煙外来:毎週火曜日(14:00～15:00)要予約
	消 化 器 ①	関	太田(肇)	小 村	太田(肇)	岡 藤	
消 化 器 ②	小 村	関	丸 川	丸 川	高 島		
精 神 科		坂 井	小 室	杉 盛	小 室	坂 井	
神 経 内 科		新 田	坂 尻	新 田	坂 尻	新 田	火:物忘れ外来(午前・要予約)
			物忘れ外来 (新田)	頭痛外来		ふるえ外来 (坂尻)	水:頭痛外来(午前) 金:ふるえ外来(午前)
循 環 器 科	一 診	佐 伯	中 村	花 岡	中 村	中 村	初診(毎日)
	二 診	小 見	阪 上	阪 上	阪 上	小 見	
	三 診		佐 伯		佐 伯	花 岡	
小 児 科	一 診	太 田(和)	酒 詰	太 田(和)	酒 詰	太 田(和)	予防接種:火・木曜日の14:30～15:30(要予約)
	二 診	刀 柝	前 馬	横 山	水 野	刀 柝	
	専 門 外 来 (午 前)					酒詰・循環器	午後の専門外来:14:00～16:30(要予約)
	専 門 外 来 (午 後)	太 田(和) 夜尿外来	水 野 アレルギー	太 田(和) 腎臓疾患	酒 詰/脳 坂 循環器/神経	酒 詰 循環器	健診:火・木曜日の13:30～15:00(要予約)
		水 野 神経 予防接種	木 場 内分泌	乳幼児健診 予防接種	太 田(和) 膀胱造影		
外 科	一 診	桐 山		桐 山		桐 山	乳腺外来(初診) 月・金曜日の8:30～10:00(受付時間) 消化管ストーマ外来:第1月曜日 13:30～
	二 診	竹 川		竹 川		竹 川	
	三 診	黒 阪		黒 阪			
	五 診		(手術日)	小島(第1・第3水曜)	(手術日)		
	六 診			初診 松 村		初診 松 村	
	七 診	道 輪				道 輪	
	乳 腺 外 来	道 輪		(桐 山)		竹 川	
整 形 外 科	初 診	池 田	納 村	長 谷 川	藤 巻	内 藤	
	再 診	長 谷 川	池 田	納 村	池 田	藤 巻	
	再 診		藤 巻		納 村		
	再 診	(手術日)	内 藤	(手術日)	内 藤	(手術日)	
脳 神 経 外 科	一 診	池 田	池 田	当 番 医	池 田	正 印	月、水、金曜日:手術日
	二 診	赤 池	正 印/赤 池	(手術日)	正 印	赤 池	火曜日二診は、一週交代です。(10:00～)
	午 後 予 約 外 来				パーキンソン外来(池田)		木(14:00～)パーキンソン病外来(要予約)
呼 吸 器 外 科	一 診	太 田(安)	(手術日)	太 田(安)	(手術日)	太 田(安)	
	二 診	守 屋		守 屋		守 屋	
心 臓 血 管 外 科	一 診	再 診 の み	遠 藤	再 診 の み	遠 藤	再 診 の み	初診(一診)は火・木曜日です。 月、水、金曜日:手術日
	二 診	(手術日)	川 上	(手術日)	松 本	(手術日)	
	三 診		松 本		笠 島		
皮 膚 科	初 診 / 再 診	稲 沖	西 島	稲 沖	稲 沖	西 島	乾癬外来:木曜日(13:30～15:30)
	再 診	西 島	稲 沖	西 島	吉 村(紫)	吉 村(紫)	
	再 診	吉 村(紫)	吉 村(紫)		午後専門(乾癬)外来		
泌 尿 器 科	一 診	越 田	越 田	越 田	八 重 樫	越 田	ED外来:第2・4木曜日 14:30～ 泌尿器ストーマ外来:第3月曜日 13:30～ 月、水、金曜日:手術日
	二 診	石 浦	八 重 樫	石 浦	石 浦	石 浦	
		八 重 樫(手術日)		八 重 樫(手術日)		八 重 樫(手術日)	
産 婦 人 科	一 診	瀬 戸	平 林	瀬 戸	金 谷	瀬 戸	妊産婦健診:午前(月～金) 助産師外来:午前(月～金)(要予約) 火、木曜日:手術日 午後:助産師乳房外来(要予約)
	二 診	平 林	当 番 医	平 林	当 番 医	平 林	
	三 診	金 谷	(手術日)	金 谷	(手術日)	金 谷	
		西		西		西	
眼 科	一 診	長 田	長 田	長 田	長 田	長 田	火・木曜日:手術日
	二 診		当 番 医		当 番 医		
耳 鼻 咽 喉 科	一 診	瀧 口	瀧 口	瀧 口	瀧 口	瀧 口	小児難聴:火～木曜日(要予約) 月、水、金曜日:手術日
	二 診	荒 館	荒 館	荒 館	荒 館	荒 館	
	三 診				廣 瀬		
放 射 線 科	一 診	齋 藤	多 田		多 田	齋 藤	照射の依頼:毎日可
	二 診	小 林	小 林	小 林	小 林	小 林	
	(超 音 波)	儀 原	多 田・牧 田	大 久 保	多 田・儀 原	儀 原	
歯 科 口 腔 外 科	初 診 / 再 診	中 尾		能 崎	初 診 の み	小 山	火、木曜日:手術日
	再 診	能 崎	(当 番 医)	中 尾	(当 番 医)	中 尾	
	再 診	小 山	(手術日)	小 山	(手術日)	能 崎	
	再 診			山 崎	(手術日)	山 崎	
麻 酔 科	一 診	岸 槿	岸 槿		岸 槿	岸 槿	ペインクリニック、術前診察:午前中
	二 診	横 山	野 竹		武 川	太 田(敏)	

※ 特殊外来及び午後外来は、予約が必要です。なお、急患については、終日受付します。
担当医は都合により変更となる場合がありますのでご了承願います。

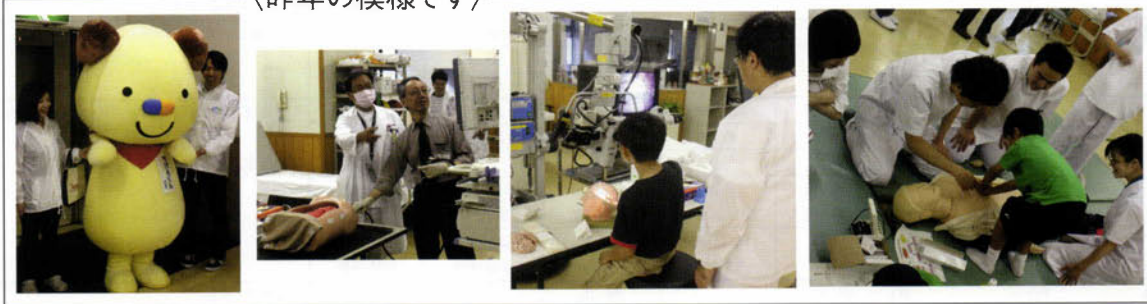
病院祭を開催します！

～平成22年10月23日（土曜日）開催予定～

本年も昨年に引き続き、地域の皆さまに開かれた病院を、また皆さまに当院についてもっと知って頂きたく、病院祭を開催します。（予定日時：10月23日午前10時～午後3時）
様々な展示企画や催し物を計画しています。詳しくは今後掲示・配布予定のポスターやチラシにて御確認下さい。多くの方のご来場をお待ち申し上げております。

金沢医療センター病院祭実行委員会

（昨年の模様です）



～～～金沢医療センターの理念及び基本方針～～～

【理 念】

私たちは、生命の尊さと人権を尊重し、安全で最良の医療をめざします。

【基本方針】

- 一、説明と同意に基づく信頼される医療を提供します。
- 一、臨床研究を行い、医学の進歩に貢献します。
- 一、病診連携を推進して、地域医療に貢献します。
- 一、医療提供基盤の安定に努め、医療環境の向上を図ります。

患者の権利・義務

医療は医療者と患者さんとの信頼関係で成り立っています。金沢医療センターでは、信頼され安心して受診していただける病院を実現するため、患者さんの基本的な権利を明確にしてこれを職員一同が認識すると共に、患者さんにも義務を守っていただくことをお願いいたします。

【患者さんの権利】

- 1. 人格を尊重した医療を受けることができます。
- 1. 良質な医療を公平に受けることができます。
- 1. 病状、治療法、見通しなどの説明を十分に受け納得の上で、治療方法を選ぶことができます。
- 1. 病状、治療法、見通しなどに関して、他の医師の意見（セカンドオピニオン）を聴くことができます。
- 1. 自分の診療録（カルテ）の記載内容について知ることができます。
- 1. 病状や診療内容に関する個人の情報は、厳密に保護されます。

【患者さんの義務】

- 1. ご自身の健康状態をできるだけ詳細かつ正確に、医師をはじめとする医療提供者にお知らせ下さい。
- 1. 検査や治療方針について納得し合意のうえ、意欲を持って取り組んでください。
- 1. 快適な療養環境づくりに協力下さい。
- 1. 病院の規則と職員の指示を守ってください。

編集後記

ワールドカップ南アフリカ大会での日本代表の活躍に、日本列島が歓喜の渦に巻き込まれました。決勝トーナメントのバラグアイ戦では、選手はもちろん、ベンチのメンバー、チームスタッフ全員が陣を組んでPK戦に臨む姿に熱いものを感じられた方も多かったのではないのでしょうか。医療の世界にもチームワークが欠かせません。日本代表がみせてくれた姿を、私たちが皆様にも見せていけるよう精進していきたくと思います。（Y・K）

発行元：金沢医療センター（〒920-8650石川県金沢市下石引町1番1号） 電話：076-262-4161 FAX：076-222-2758

ホームページ：http://www.kanazawa-hosp.jp/、Eメール：admin@kanazawa.hosp.go.jp

地域医療連携室直通電話：076-262-4187、直通FAX：076-262-4188

編集委員：小原香耶、沖田光郎、奥村達夫、金子祐子、菊山 譲、北川芳美、越田 潔、周藤英将、仲村恵子、中村由紀夫、西原寿代（五十音順）